



報道関係者各位

2020年6月10日

サカセ・アドテック株式会社

JAXA 革新的衛星技術実証プログラムに選定

宇宙環境保全に貢献するデオービット機構の事業化

近年、数十機～数万機の超小型人工衛星を軌道に投入する事例が世界的に増加しています。運用を終えた人工衛星が宇宙ゴミとなり、宇宙環境の悪化が世界的な問題になっています。宇宙環境保全のためデオービット機構を予め人工衛星に備えることが有効です。

注) デオービット機構：運用を終えた人工衛星を軌道離脱させ、大気圏に再突入させて燃やし尽くすための機能を有する装置のこと。

この度、弊社にて研究開発を行ってきた超軽量宇宙伸展構造物に関する技術と、超小型衛星トップメーカーであり本件代表提案者である株式会社アクセルスペースの衛星システム技術を活かし、宇宙環境保全に貢献する膜展開型デオービット機構を開発します。ご案内の JAXA 革新的衛星技術実証 3 号機の公募に応募し、この度搭載機器としての宇宙実証に選定されましたのでお知らせいたします。

開発体制は次の通りです。

株式会社アクセルスペース：動作回路の設計/製造

サカセ・アドテック株式会社：膜面展開構造物/展開機構/筐体の設計/製造

アクセルスペース社様代表提案者の実証テーマに対する主な選定理由は以下の通りです。

- ・宇宙ゴミ問題の解決に資する薄膜展開機構の実証で、時流をとらえた提案であること、推進系機器に比べ、空間容積・質量・圧力装置不要の観点で搭載制約が低いこと。

本製品の市場としては、アクセルスペース社将来衛星に本機構を搭載すること以外に、当製品の持つ汎用性を活かし他の超小型衛星製造メーカーへの販売も見込めます。更に人工衛星ユーザーが宇宙ゴミ化防止に関する国際ルールを遵守しやすくなり競争力向上に貢献できるようになります。

また、福井県が目指す「宇宙産業の拠点化」施策と方向性が一致するため、より一層の連携を深めて参ります。

革新的衛星技術実証3号機実証テーマ公募の選定結果について

www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/news/202005_1.html

株式会社アクセルスペースについて

<https://www.axelspace.com/>

アクセルスペース社様の本件プレスリリースへのリンク先

日本語：https://www.axelspace.com/info/news/20200609/pr_200609_ja/

英語：https://www.axelspace.com/en/info/_news_/20200609/pr_200609_en/